

平成二十八年度 新採用職員紹介

昨今、福祉施設で働くという人材が少ない中、今年度もフレッシュな職員が入職しました。入職者の経歴は様々ですが、どの職員もご利用児・者、ご家族のニーズに添えるよう毎日頑張っています。慣れるまでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

なお、今年度の新採用職員については、二ページ以降の各施設のページで紹介しています。



◇あけぼの園

武藤 恵子

保育士

◇精陽学園

廣瀬 航

児童指導員

◇ソーレ平塚

平野末菜実

生活支援員

板橋 郁也

生活指導員

◇ソーレ平塚地域支援センター

星野 未来

支援員

◇すこやか園

小林久美子

保育士

(七月一日付け採用者まで)

人事異動

◇あけぼの園

伊藤 美晴 (すこやか園より)

◇ソーレ平塚地域支援センター

荻野 泰宏 (ソーレ平塚より)



今号のテーマ

「しせん」第三号では、唐突ですが、「きっかけ」をテーマにしてみました。福祉人材の確保の難しさが叫ばれている中、現在、働いている職員と新採用職員に「どのようなきっかけや出来事」があつてこの仕事をしようと思ったのかを施設長も含めて聞いてみました。普段、同じ職場で働いていてもなかなか聞く機会もなく、働き出して長い職員と新採用職員との「きっかけ」の違いなども見えたりしますので、ご一読いただければと思います。

なお、新採用職員については、次の三つの質問に答えてもらう形をとりました。

- ①この仕事をしようと思ったきっかけや出来事。
- ②好きなものや好きなこと。
- ③アピールポイント。



あけぼの園

今の仕事を選んだきっかけ

あけぼの園 園長 三浦 郁夫



私は六十歳の定年を迎えるまで神奈川県職員をしていました。定年後の第二の職場としてあけぼの園で拾っていただき四年目を迎え感謝しているところです。

神奈川県には福祉系の学校を卒業して、昭和五十年に福祉職として就職をしました。三十八年間の県職員生活の中で十二か所転勤をしており、知的障害児や者の入所施設、福祉事務所、児童自立支援施設、児童相談所等たくさん経験させてもらいました。その中で、児童分野の業務を県職員生活で半分以上行ってきたので、非常に遣り甲斐を感じ、大人の責任として、子どもたちを健やかに育てることが大切だと常々感じて仕事をしてきました。現在のあけぼの園での仕事も同じ気持ちです。

そもそも福祉の仕事を目指そうと思ったのは、いい加減ですが、なんとなく福祉の世界で人に役に立ちたいという思いが高校生頃からありました。そのきっかけ

けになることを強いて思い起こせば、小中学校の同級生で知的に遅れのある人がいて、かわりに印象が強かったからでしょうか。



児童指導員 安藤 明子



あけぼの園で働く前は、高齢者施設で相談員として働いていました。真逆ともいえる仕事内容ですが、児童養護施設での仕事経験があります。児童養護施設では、虐待で傷ついた子供、発達に遅れが見られる子供も多く、対応が難しく悩みも多くありました。それ以上に多くの事を学びました。もう一つのきっかけとして、自分自身の子供に病気が見つかった事もあります。子供の事でたくさん悩みながらこの経験からもう一度子供の仕事をしたい、お母さん方の支えに少し

でもなれたらとの思いであけぼの園で働くようになりました。

児童養護施設では生活全般の対応を行うため、療育を行う事は初めてなので毎日勉強です。その様ななかでも、自身であけぼの園で働こうと思ったきっかけを忘れずに日々頑張っていると思っています。



児童指導員 古川 千尋



私は幼稚園教諭を経て、あけぼの園に就職しました。幼稚園にて受け持ったクラスに自閉症の男の子がおり、入園当初は「この子お話ししない…」と戸惑う他児もいました。しかし共に過ごす中で「〇〇くん嬉しそう！」と表情から彼の気持ちを感じる子、なかなか靴が履けない彼を手伝う子、園内を回る事を好む彼と



共に歩き回り「探検隊だね！」と笑顔で言う子…。子ども達はいつの間にか「ともだち」になっていました。また、彼も友達の名前を口にしたり、手を繋ぎたがったり、何よりも表情がとても豊かになりました。そのような子ども達の姿から人と人が共に生きていく温かさを感じ「大人も子どものようにどんな人とも真っ直ぐに向き合えたらいいのにな…」と考えるようになりました。そこで、もっと障がいのある人のことを知りたいと思い、あけぼの園と出会いました。悩む事だらけの毎日ですが、まささらな気持ちで子ども達と向き合っていきたいです。



精陽学園

〜今の仕事を選んだきっかけ〜

精陽学園 園長 市川 進治



日頃から精陽学園の子ども達は、教員、地域、ボランティア、医療、交流先の福祉施設、行政機関等の方々に支えていただき、感謝の気持ちで一杯です。子ども達の成長を実感でき、本当にうれしく感じています。

子ども達の成長と共に、職員も成長していかなくてはなりません。そこにシナジー効果が発揮され、より互いの成長が期待されます。自らの成長の原点をたどると、この仕事を選んだ時の気持ちに遡るのではないのでしょうか。

今から数十年前のこと、入職時に書いた作文の一節が次のとおりです。

「いかに社会の中につまぐ入っていきけるようになるのか、子ども達の可能性を信じることは不可欠なことです。目に見える成長は確かに嬉しいものですが、そこに達するまでの段階は時間もかかります。その過程である目に見えない成長をしつかりとつかみ取り、期待とともに育みたいと思います。」この気持ちは、数十年たっても変わらずに持ち続けております。

保育士 高尾 一貴



私が児童福祉の道を目指すきっかけとなったのは、大学生の時ふとしたことから行った障害児施設でのボランティアでした。それまでは、子どもと関わったことは殆どありませんでしたが、何度か関わる中で楽しさが見え更に、生活全般を支援してみたい、という想いが強くなりました。そして、ご縁があつて精陽学園に就職しました。

あれから十二年が経とうとしていますがこの間、辛かったり悩んだりしたことが少なくなりました。しかし、子ども達と気持ちを通じ合えたり、成長が見られた時は嬉しく、「この子たちの数年後はどう成長しているか見守りたい」という気持ちもあり続けられたと思います。また、そういう風に思える様に自分を成長させてくれたのは、子ども達であり感謝しています。

まだまだ至らない点も多く、皆さんにご迷惑お掛けすることも多いですが、今後子ども達を見守っていききたいと思えます。

児童指導員 白井 由美



高校三年生の夏、ある本に出会いました。私の人生を変えたその本には家庭内では解決することが難しい問題を抱える家庭が、第三者の介入と共に改善へと向かう話が書かれていました。世の中には自分の知らないところで様々な事情を抱える人々がいるのか…。どうにか力になりたい！と思ったことが今の仕事に興味を持ちはじめた原点です。私にとって、支援する対象者に障がいがある、ないはあまり関係なく、一人の心と身体の健康に貢献できるかどうかということが大きなテーマでした。まず第一歩として、様々な人々の行動と心について理解する必要があると思い、大学で心理学を専攻しました。卒業後、少し遠回りをした後にご縁があり精陽学園の施設長とお話をする機会を頂きました。その時、私が読んだ本とよく似た経験をした子供たちが精陽学園には居ることを知りました。クリニックや相談室など、心の治療をする場所は沢山ありますが、普段の生活をどう過ごすかがとても大切だと私は信じています。「入所施設だからこそできる支援がある。」そう思い、精陽学園で働きたい

と思った事がこの仕事を始めたきっかけです。

新採用職員

児童指導員 廣瀬 航



①子どもたちの毎日の生活によりよい成長を見守っていくことができるからです。また子どもたちにとって今必要な事を一つひとつ一緒に考えるという仕事に魅力を感じたからです。

②好きな事は料理をすることです。イタリアンレストランで長い間アルバイトをしていたので、ピザやパスタはもちろん、フルコース料理もつくれます。

また、作るだけでなく、食べることも大好きです。おいしそうなラーメン屋を見つけると、入らずにはいられます。食はずぎには気をつけます。

③私は、子どもたちと遊ぶことが大好きです。最近は、精陽学園のわんぱくな子どもたちに「たかいたかい」などをして遊んでいます。子どもの笑顔を見ることが好きなのは、私の長所だと考えています。精陽学園は、それを活かせる場所です。子どもたちと共に、毎日楽しく過ごしていきたいと思えます。

※①きっかけ ②好きな事や物

③アピールポイント

ソール平塚

今の仕事を選んだきっかけ

ソール平塚施設長 清水 行夫



高校時代、進路を検討していた時に仲の良かった友人が福祉系の大学に進学すると聞き、自分も福祉に興味があったので福祉系に進もうかと迷ったものの、その時は別のことを専攻したく、最終的には別の学部に進学しました。ただ、頭の片隅に友人のことと、私が子どもの頃、街中に多くいた傷痍軍人の姿と小学校の時に毎日、母親がついてきて一緒に授業を受けていた知的障害の同級生のことが残っていて、こういった人たちがかわりたいという思いはあったので、大学ではボランティアサークルに入りました。サークルでは、障害児・者の施設を訪問したりしていましたが、活動しているうちに「この人たちとかかわりたい」という思いが強くなり、卒業後、知的障害児施設を経て、至泉会に就職し現在に至っているのですが、友人がいなければ大学でサークルに入ることもなかったと思います。そう考えると友人がこの仕事に就くきっかけを作ってくれたと言えるのかもしれません。

生活支援課一階

生活支援員 古尾谷 一宏



福祉の仕事を始める前は色々と競争の多い職場で非正規職員として働いてきましたが、どうもその競争に馴染めない中、どちらかというと趣味などの仕事以外の時間に力を注いでいた気がします。

そんな中、体調を崩し仕事を変えようかという機会がありました。その時一瞬関係の仕事をしていたので、少し違った人と直に触れる仕事、デスクワークではなく体を動かす仕事、競争のゆるやかな仕事とを考えていました。当時、大変で人手がたりないといわれていたのが福祉業界でした。大変だと色んな人から言われましたが、自分のニーズにも合っているようで、どうせなら必要とされている仕事をとったのが足を踏み入れた理由になるでしょうか。

実際始めてみると、今までの仕事より人が生きることに関わる仕事で、人の人生に直接タッチする仕事だと感じていますし、これからも多くの人の人生に触れていると思って仕事を出来ればと思います。

生活支援課二階

生活支援員 杉谷 りつ子



みたり、お年寄りのお世話をするのが大好きでした。「ありがとう」と言ってももらえる事が大好きでした。保育士になった事も、子育てが一段落して学童保育に復帰したのも自然の流れだった様に思います。

そして、私はいつも母の背中をみてきました。四十歳半ばで仕事と農作業と姑の介護をし、四人の子育てを懸命にしていました。在宅介護など立派な言葉はなく、自宅で嫁が診るのが当たり前の時代でした。そんな母の年齢に追いついた時私も介護の仕事がしたい、プロとして出来る限りの仕事がしたいと思いました。今、この仕事につけた事、「ありがとう」と言ってもらえる事を幸せに思います。

新採用職員 生活支援課一階

生活支援員 板橋 郁也



①小学校から中学校にかけて同じ学年に双子の障害を持った方がいました。よく一緒に遊んだりしていて、障害について興味を持ち始めました。高校生になり、医療が福祉の勉強をしたいと思

い、ボランティアなどに参加しました。

ボランティアに参加して、福祉への興味が強くなり、福祉への道に進もうと思いました。

②スポーツをする事です。私は身体は大きい方ですが、これでもスポーツは出来る方だと思っています。最近をよく友人とサッカーをしています。ポジションはキーパーをしてシュートを止めています。家では、ゲームをしたりアニメを観ています。

③笑顔です。ニコリ笑顔で利用者や職員にコミュニケーションを取っています。新人職員としてこれからも頑張ります。

新採用職員 生活支援課二階

生活支援員 平野 未菜実



①思い付きできっかけもなく介護福祉の専門学校を受験しました。専門学校に入学してみると、社会福祉倫理や身体と心の仕組みを勉強することが楽しくて仕方ありませんでした。専門学校の頃は、人生で一番勉強していました。

②趣味は断捨離です。あと、フェスやクラブに行く事で、アウトドア系が好きです。

③決断力と挑戦力。

ソーレ平塚地域支援センター

今の仕事を選んだきっかけ
ソーレ平塚地域支援センター

センター長 辻 隆造



この仕事を生業としている身にとって、改めてきっかけを考える機会を与えられてみると、思いは過去へと遡る。何か決定的なきっかけがあるとも思えず、さりとなかったとも思えないが、自分史の概略を述べながら考えてみる。

至泉会とは、平成二十一年四月からソーレ平塚地域支援センター（児者通所・相談事業）のセンター長として、その前年は、ソーレ平塚（入所）の居住者さんとの出会いがあった。同時期に、あけぼの園（児童通園）とすこやか園（児童通園・成人通所・相談支援）に関わり始めていた。ここに至るまでに、児童福祉、障がい者福祉との付き合いが、すでに三十数年経過していた。

今から約四十年前、一人の女性との生活を支えるためにこの業界に足を踏み入れたというのが、正直な本当のきっかけだ。なんだかお粗末な結論になってしまいが、さらに、遡ってみると、かわいかった小学校入学前から非常に他人の行動に強い関心があったことを思い出す。津

軽の繁華街で生まれ育った私は、日がな

一日、行きかう人や車、靴工場職人の手さばき、鰻屋でかば焼きが仕上がるまでの一部始終に、冬は、そりを曳く馬を操る博労の動きに目を奪われた。どうやらここが私の本当の原点であり、本当のきっかけと言えそうである。

ソーレ平塚地域支援センター

支援員 羽生田亜樹子



私の叔母は訪問介護の仕事をしています。昔、私の母が入院している時に、意識のはっきりしなかった母は、いつも見舞ってくれる叔母を自分の専属のヘルパーだと思い込み、着替えやオムツ替えをいつも叔母に依頼していました。叔母の介助の所作を目の前で見ていた私は、その丁寧な介助方法や手際の良さ・声掛けの仕方やタイミングなどによって、介助されているときの母が安心した表情になることに癒されていたように思います。

当時は漠然と叔母を「すごいな」と思っていました。自分が子どもを産んで育てる中で、自分が関わることで相手を安心させられる、そして家族以外の誰かに関わるのが仕事になることに気付きました。自分の子育てが落ち着いて、

仕事を始めるなら介護の仕事にしよう！と心に決め、資格をとりました。

私は両親を早くに亡くしており、親代わりとなって私を支えてくれた叔母を目標にしたことが今の私につながっています！

ソーレ平塚生活支援センター

相談員 津野 裕子



私は短大を卒業して、ソーレ平塚の入所施設で生活支援員として六年間働かせていただきました。その時一緒に働いていた先輩方が資格試験に挑戦している姿を見て、私も自信を持って働けるようになりたいと思い、ケアマネジャーの試験に挑戦しました。『資格がとれたなら一度は経験して資格をいかすべき』、これも先輩からの言葉でしたが、このままでよいのかな？と漠然とした不安を抱えていた私にとって、心を動かされた一言だったように思います。思い切って高齢者の居宅介護支援事業所へ転職。利用者のお家に訪問し、家族や外の事業所の人と関わる…人見知りの私にはとても似合わない仕事。よく思い切ったな…と当時の自分の行動に驚く今の自分がいますが、挑戦してよかったと思っています。三年前からまた、ソーレ平塚生活支援センター

で相談支援専門員としてお世話になっています。また、ソーレで働くことができ感謝しています。

ソーレ平塚地域支援センター
新採用職員 支援員 星野 未来



①実習で、初めて障がい者支援に関わって、自分にとっての「支援」の形を見つけることができたからです。

②おいしいものを食べることが大好きです。

カメラで写真を撮る事、ライブに行く事、泳ぐ事・・・好きなことはたくさんあります。

③いつでもニコニコ笑顔で、楽しくお仕事しています。

わらべうたや手遊び、制作が得意です。

※①きっかけ ②好きな事や物
③アビールポイント



すこやか園

〜今の仕事を選んだきっかけ〜

すこやか園 園長 藤原 雄三



私の前職は、神奈川県「福祉職」の職員です。六十歳になるまでは定年退職後について、何か今までの経験を活かすことができれば程度で、あまり真剣に考えていませんでした。いざ六十歳になり退職後のことを具体的に決めなくてはならない時期に、今の仕事の話をいただきました。話をいただき、大変有り難く思いましたが、何のとりえもない私に何かお役に立てることがあるのか自問しました。

その時、様々な勉強をさせていただいた前職の三十四年間、十数か所の職場における貴重な経験が頭に浮かびました。この経験が、何かお役に立てるかもしれないと考え、「今の仕事に就かせていただきます」。

今の仕事に就いて三年目と なっていますが、前職の経験が少しはお役に立てていて、微力ながら社会貢献にも繋がっているのではないかと、手前勝手に思っています。

地域支援課 相談支援事業

主任 矢野 健作



私は大学時代、ボランティアサークルに所属していました。活動内容としては月に一回、知的障害の子どもが入所している施設へ訪問し、レクリエーションを通じて交流を図るというものでした。友人に誘われて何気なく参加していましたが、子どもたちが喜んでくれることがとても嬉しくなり、気付けば毎回参加していました。大学四年になり、就職活動が始まりました。

自分がどのような方向性で進んでいくかと考えていたときに、ボランティアサークルでの経験が一番最初に頭に浮かびました。楽しかった印象がとても強く、子どもの施設で働きたい、と単純に考えていました。合同就職説明会で求人リストに精陽学園が載っていたのを発見し、就職試験を受けたのが、至泉会との出会いでした。

今回、この原稿を書いたことで、当時の気持ちを思い出す機会となりました。初心を忘れずに、今後とも取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございます。

児童療育課

児童指導員 檜原 杏梨



私が今の仕事を始めたきっかけは、大学一年生の頃から今も参加しているボランティアです。そのボランティアは、自閉症のお子さんを持つ親御さんたちによってつくられたもので、キャンプや運動会などの様々な行事を通して、自閉症のお子さんたちとふれあうことができます。また、このボランティアは親御さんだけでなく兄弟児も一緒に参加をしているので、そのご家族と関わることもできます。実際にお子さんたち、そしてご家族と関わっていく中で感じた事は、その子一人ひとりにあった遊びや、コミュニケーションの方法で、一緒に、楽しい、が感じられること。そして、お子さんの成長を支える家族の絆を間近で感じ、私もこのような家族ともしっかりと携わり、お手伝いをしたい、子どもの成長と一緒に喜びたい、と思うようになりました。

今、実際にお仕事をさせていただいて、楽しさの中には難しさもあり、まだまだ勉強中です。日々悩むこともありますが、いつでもこの仕事を始める前に抱いていた思いを忘れずに、頑張っていきたいと思えます。

新採用職員 児童療育課

保育士 小林 久美子



① 保育園で働いていた際、発達や行動が気になる子に対して、もっとじっくり寄り添い、関わっていかれたらとの思いを抱いていました。「療育」のことを知り、一人ひとりに合わせて寄り添い、その子が自立し自分らしく輝いて生きていける土台作りに関われるという、素晴らしい仕事に惹かれ、ぜひ携わってみたいと思ったからです。

② 雑貨屋さん巡りやアンティークマーケットに行くことが好きです。「これ」という雑貨に出会えた時は、喜びもひとりであります。また、ミシンや編み物で小物を作ることが好きです。今後はパン作りにも挑戦してみたいです。

③ 人と関わる事や話すことが好きで、どんな人ともコミュニケーションを取ることが出来ます。

また、こつこつ努力型なので、日々仕事に一生懸命取り組む中で、様々な事を吸収し成長していきたいです。好きな言葉は「笑顔」です。いつも笑顔で過ごし、周りの人達も笑顔にすることが出来たらいいなと思っています。

※①きっかけ ②好きな事や物 ③アピールポイント

第1号の1様式

資金収支計算書
(自)平成27年 4月 1日 (至)平成28年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	増減 (A) - (B)
事業活動による収支	収入			
	児童福祉事業収入	189,714,629	192,235,054	△ 2,520,425
	障害福祉サービス等事業収入	731,547,829	731,536,410	11,419
	借入金利息補助金収入	986,700	986,700	0
	経常経費寄附金収入	850,834	928,711	△ 77,877
	受取利息配当金収入	76,715	80,159	△ 3,444
	その他の収入	9,629,970	9,670,185	△ 40,215
	事業活動収入計 (1)	932,806,677	935,437,219	△ 2,630,542
	支出			
	人件費支出	673,043,127	674,687,657	△ 1,644,530
施設整備等による収支	事業費支出	94,632,258	93,946,300	685,958
	事務費支出	133,693,554	121,772,811	11,920,743
	支払利息支出	1,105,500	1,105,500	0
	その他の支出	5,814,588	5,818,452	△ 3,864
	流動資産評価損等による資金減少額		6,786	△ 6,786
	事業活動支出計 (2)	908,289,027	897,337,506	10,951,521
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	24,517,650	38,099,713	△ 13,582,063
	収入			
	施設整備等補助金収入	12,725,000	12,725,000	0
	施設整備等寄附金収入	3,810,000	3,810,000	0
その他の活動による収支	固定資産売却収入	1,000	1,000	0
	施設整備等収入計 (4)	16,536,000	16,536,000	0
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	14,800,000	14,800,000	0
	固定資産取得支出	22,353,690	17,818,946	4,534,744
	施設整備等支出計 (5)	37,153,690	32,618,946	4,534,744
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 20,617,690	△ 16,082,946	△ 4,534,744
	収入			
	積立資産取崩収入	9,185,950	9,185,950	0
	その他の活動収入計 (7)	9,185,950	9,185,950	0
予備費支出 (10)	支出			
	積立資産支出	30,109,500	30,857,100	△ 747,600
	その他の活動による支出	769,800	769,800	0
	その他の活動支出計 (8)	30,879,300	31,626,900	△ 747,600
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 21,693,350	△ 22,440,950	747,600
	当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 17,793,390	△ 424,183	△ 17,369,207
	前期末支払資金残高 (12)	216,222,604	216,222,604	0
	当期末支払資金残高 (11)+(12)	198,429,214	215,798,421	△ 17,369,207

第2号の1様式

事業活動計算書
(自)平成27年 4月 1日 (至)平成28年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
事業活動増減の部	収益			
	児童福祉事業収益	192,235,054	165,504,933	26,730,121
	障害福祉サービス等事業収益	731,536,410	722,701,136	8,835,274
	経常経費寄附金収益	928,711	1,426,604	△ 497,893
	その他の収益	1,179,520	160,060	1,019,460
	サービス活動収益計 (1)	925,879,695	889,792,733	36,086,962
	費用			
	人件費	678,104,464	664,688,077	13,416,387
	事業費	93,946,300	100,374,221	△ 6,427,921
	事務費	121,772,811	108,295,838	13,476,973
サービス活動増減の部	減価償却費	43,280,705	43,294,221	△ 13,516
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 30,714,845	△ 30,919,363	204,518
	国庫補助金等特別積立金積立額	14,425,000	10,725,000	3,700,000
	徴収不能額	6,786		6,786
	サービス活動費用計 (2)	920,821,221	896,457,994	24,363,227
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	5,058,474	△ 6,665,261	11,723,735
	収益			
	借入金利息補助金収益	986,700	1,315,600	△ 328,900
	受取利息配当金収益	80,159	79,133	1,026
	その他のサービス活動外収益	8,490,665	6,375,969	2,114,696
特別増減の部	サービス活動外収益計 (4)	9,557,524	7,770,702	1,786,822
	費用			
	支払利息	1,105,500	1,358,425	△ 252,925
	その他のサービス活動外費用	5,818,452	5,605,682	212,770
	サービス活動外費用計 (5)	6,923,952	6,964,107	△ 40,155
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	2,633,572	806,595	1,826,977
	経常増減差額 (7)=(3)+(6)	7,692,046	△ 5,858,666	13,550,712
	収益			
	施設整備等補助金収益	12,725,000	10,725,000	2,000,000
	施設整備等寄附金収益	3,810,000	1,500,000	2,310,000
繰越活動増減差額の部	固定資産受贈額		4,358,538	△ 4,358,538
	固定資産売却益	1,000		1,000
	特別収益計 (8)	16,536,000	16,583,538	△ 47,538
	費用			
	基本金組入額	500,000	500,000	0
	固定資産売却損・処分損	820,000	10	819,990
	国庫補助金等特別積立金取崩額 (除却等)	△ 336,312		△ 336,312
	特別費用計 (9)	983,688	500,010	483,678
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	15,552,312	16,083,528	△ 531,216
	当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	23,244,358	10,224,862	13,019,496
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	277,966,132	281,741,270	△ 3,775,138
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	301,210,490	291,966,132	9,244,358
	基本金取崩額 (14)			
	その他の積立金取崩額 (15)	1,100,000	1,600,000	△ 500,000
	その他の積立金積立額 (16)	22,100,000	15,600,000	6,500,000
	前期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	280,210,490	277,966,132	2,244,358

第3号の1様式

貸借対照表
平成28年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	276,822,971	257,021,593	19,801,378	流動負債	124,558,083	101,586,865	22,971,218
現金預金	140,610,036	132,088,307	8,521,729	事業未払金	33,141,214	17,444,355	15,696,859
事業未収金	125,053,355	113,073,701	11,979,654	1年以内返済予定設備資金借入金	14,800,000	14,800,000	0
未収金	180,750	149,864	30,886	1年以内支払予定長期未払金	686,400	686,400	0
未収補助金	7,188,900	8,237,420	△ 1,048,520	未払費用	25,275,839	23,318,944	1,956,895
立替金	3,198,787	2,841,001	357,786	職員預り金	2,607,497	35,690	2,571,807
前払金	408,843	470,650	△ 61,807	賞与引当金	48,047,133	45,301,476	2,745,657
前払費用	133,800	106,000	27,800				
仮払金	0	150	△ 150				
その他の流動資産	48,500	54,500	△ 6,000				
固定資産	1,235,634,836	1,240,555,695	△ 4,920,859	固定負債	84,070,900	99,279,800	△ 15,208,900
基本財産	709,919,880	741,525,394	△ 31,605,514	設備資金借入金	16,800,000	31,600,000	△ 14,800,000
土地	52,510,368	52,510,368	0	退職給付引当金	65,440,500	65,163,000	277,500
建物	657,409,512	689,015,026	△ 31,605,514	長期未払金	1,830,400	2,516,800	△ 686,400
その他の固定資産	525,714,956	499,030,301	26,684,655	負債の部合計	208,628,983	200,866,665	7,762,318
土地	3,000,000	3,000,000	0	純資産の部			
建物	1,967,715	2,610,367	△ 642,652	基本金	55,326,550	54,826,550	500,000
建物附属設備	175,430	191,610	△ 16,180	第1号基本金	21,593,550	21,593,550	0
構築物	3,700,040	4,485,786	△ 785,746	第2号基本金	33,733,000	33,233,000	500,000
機械及び装置	1	99,749	△ 99,749	国庫補助金等特別積立金	559,380,784	576,006,941	△ 16,626,157
車輛運搬具	13,440,552	12,281,727	1,158,825	その他の積立金	408,911,000	387,911,000	21,000,000
器具及び備品	26,691,123	20,748,522	5,942,601	人件費積立金 (措置)	13,000,000	13,000,000	0
権利	1,959,430	2,036,080	△ 76,650	施設・設備整備積立金 (措置)	88,711,000	88,711,000	0
ソフトウェア	185,255	367,569	△ 182,314	人件費積立金	54,800,000	54,800,000	0
退職給付引当資産	65,440,500	65,163,000	277,500	施設・設備整備積立金A	180,700,000	163,600,000	17,100,000
人件費積立資産 (措置)	13,000,000	13,000,000	0	施設・設備整備積立金B	35,700,000	31,800,000	3,900,000
施設・設備整備積立資産 (措置)	88,711,000	88,711,000	0	移行時特別積立金	36,000,000	36,000,000	0
人件費積立資産	54,800,000	54,800,000	0	次期繰越活動増減差額	280,210,490	277,966,132	2,244,358
施設・設備整備積立資産A	180,700,000	163,600,000	17,100,000	(うち当期活動増減差額)	23,244,358	10,224,862	13,019,496
施設・設備整備積立資産B	35,700,000	31,800,000	3,900,000				
移行時特別積立資産	36,000,000	36,000,000	0				
リサイクル預託金	160,510	134,890	25,620				
長期前払費用	83,400		83,400	純資産の部合計	1,303,828,824	1,296,710,623	7,118,201
資産の部合計	1,512,457,807	1,497,577,288	14,880,519	負債及び純資産の部合計	1,512,457,807	1,497,577,288	14,880,519

あけぼの園とすこやか園は四月当初から定員を満了することができ安定した運営を行いました。ソーレ平塚地域支援センターは、生活介護の利用者の入院や契約解除等により利用人数が減少しましたが、

職員採用においては、新年度になつてからも欠員（保育士、生活支援員、看護師）の補充ができない状態が一部の施設で続きましたが、年度途中でおおむね採用することができました。

ソーレ平塚療育園の生活介護の利用者が当初の見込みより多かったため、全体としては大きな減少とはなりませんでしたが、ソーレ平塚療育園では、児童発達支援事業の登録者が少なく、かつ出席率も低い状況にあり、課題となっ

計画相談支援については、年々相談件数が増え、かつ相談内容も多様化してきており、質の高いサービスを提供するため、相談員の質の向上と地域ネットワークの形成、他事業所等との連携がより必要になってきています。

ています。精陽学園では、今年度は成人サービスへの移行支援により年度末には高卒者がいなくなりましたが、その反面、退所した児童分の入所児童の確保が困難だったため、定員を埋めることができませんでした。ソーレ平塚においては、利用者の高齢化に伴う体調不良による長期入院やお亡くなりになる方があり、次の入所候補者が中々決まらなかったこともあり、定員に空きがある状態が続きまし

た。当法人では、法人の基本理念を念頭に利用児者の安心と安全を守り、療育や支援等の各種サービスを提供することを目標としてきました。今年度、ソーレ平塚において二名の利用者がお亡くなりになりました。兩名とも死因は急性心不全と誤嚥性肺炎ということで施設に過失はありませんでしたが利用者が高齢化が進んできているため、日々の健康管理や体調不良時の通院の判断などを検討しました。精陽学園では、二月に通院から

帰る途中、職員が後席の児童に気を取られ対向車線にはみ出し、車両が全損するという事故がありました。幸い、児童、職員、相手方のいすれにも怪我はありませんでしたが、事故後、法人全施設に注意喚起を促し、再発防止策を講じました。また、三月に入浴中に児童がおぼれそうになることがあり、入浴介助方法を見直しました。

各施設とも経年劣化に伴う建物や設備の補修工事や交換が増えていきます。今年度は精陽学園において共同募金の補助を受けて食堂の改修と温冷配膳車を購入しました。また、ソーレ平塚においては、避難用スロープの破損が見られ三月に改修工事を行いました。

今後とも利用児者への療育及び支援については、各施設ともに一人ひとりに向き合い、地域のニーズも積極的に受け止め、至泉会を利用される利用児者、ご家族が幸せになれるよう心がけていきたいと思ひます。

社会福祉法人至泉会への
ご寄付ありがとうございます。

渡辺 敏郎 様
小野 剛 様
大石 哲 様

（順不同）

（各施設へご寄付をいただいた方は、各施設の機関誌に掲載いたします）

編集後記

一昨年度から発行した「しせん」も今号で第三号となりました。この間、社会福祉事業をめぐる動きはめまぐるしいものがありました。が、今号では、原点に返る意味を込めて、なぜこの仕事をしようと思ったのか、その「きっかけ」をいろいろな職員に聞いてみました。どの職員にも自分なりの「きっかけ」があると思いますが、長く働いているとつい忘れてしまいがちです。今号をきっかけに多くの職員が「きっかけ」を思い出してもらい、療育や支援の一層の向上につながればと思っています。

編集委員一同